

「花清光」号が枝肉研究会で肉質良好、今後に期待

【飛騨牛研究部】

平成27年11月5日に飛騨ミート農業協同組合連合会(高山市)に於いて、平成23年度の先行交配種雄牛「花清光(父:花清国)」号の枝肉研究会を開催しました。

本牛は高能力牛「みつひさ」(高山市)の娘牛「ひさこ(父:白清85の3)」(中津川市)に、資質系種雄牛の造成を目的として「花清国」が交配されて生産されました。

直接検定の結果、1日当り増体量及び飼料の利用効率共に成績良好であり、また発育、体型及び資質の良さ、並びに遺伝的能力の高さ等から待機種雄牛に選抜されました。

母方の系統は「おやま系」で、「花清光」号は第11回全国和牛能力共進会(宮城県大会)第4区(系統雌牛群)の系統内交配のための種雄牛となっています。

枝肉研究会には、畜産研究所からの5頭を含む計12頭が出品されました。表に示す様にBMSNo.が8.1、5等級率が75%と優秀な成績でした。また、サシの形状は小ザシであり、肉色及び脂肪の質が良好で、腿の肉質も優れておりました。この様に、「花清光」は飛騨牛の特徴を強く伝えることができる種雄牛として活躍してくれることを期待しております。

○「花清光」号のプロフィール

- ・生年月日 平成22年7月19日
- ・生産地 岐阜県中津川市
- ・登録番号 黒原5595(84.9)



花清光

○枝肉研究会の成績 (12頭:去勢11頭、雌1頭)

月齢	枝肉重量	ロース面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	BCSNo.	5等級率
月	kg	cm ²	cm	cm	%			%
27.7	463.4	55.0	8.2	2.8	73.7	8.1	3.7	75.0

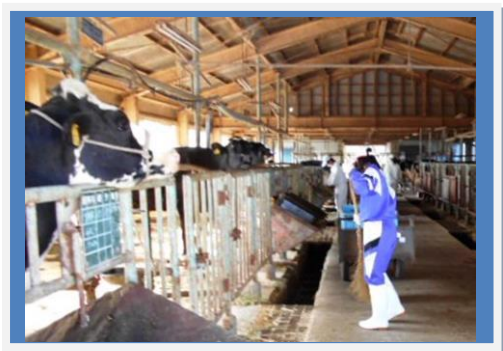
酪農を学ぶ中学校職場体験を開催

【酪農研究部】

平成27年11月27日から29日に酪農研究部(恵那市山岡町)にて職員指導の下、地元中学生3名が乳牛への給餌や子牛への哺乳、搾乳の手伝い、牛舎内の清掃及び自給飼料分析の実験補助などの職場体験をしました。

生徒から体験後に寄せられたお礼の手紙には、力のいる作業が多く根気のいる仕事で、働くことの大変さを体感できたことや、牛乳には大勢の方の努力と心が込められており愛着が湧いたことが感謝の気持ちと共に綴られていました。

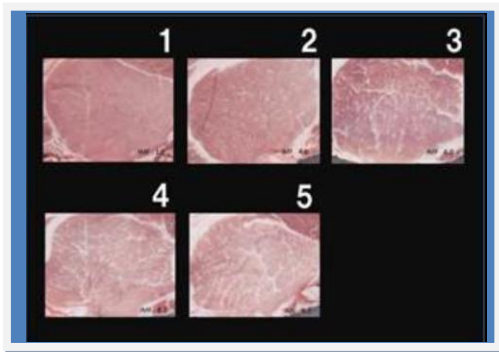
家畜に触れる機会が少なくなった今、学校を通じて中学生や保護者をはじめとする地域の方々が酪農に興味を持ち、理解を深めていただけるきっかけとなるよう支援しました。



岐阜の養豚を全国にアピール

【養豚・養鶏研究部】

平成27年10月8日から9日に日本養豚学会岐阜大会で、「生産者と食肉流通業者から見た養豚業の現状と課題」のシンポジウムが開催されました。全国から多くの方が集まった中で、県内の生産者と食肉流通



豚ロース肉の霜降り評価スコア

業者の方々が、ポーノブラウンを用いて生産されている銘柄豚に関する発表をされ、本県の養豚ブランド戦略を全国に向けてアピールすることができました。

併せて、2課題を発表しました。「独自に作成した評価スコアによる豚ロース肉中粗脂肪含量(霜降り割合)の推定について」では、豚ロース肉の霜降り割合を評価スコアによってロース肉を見た目で評価しスコア化することで、時間とコストを要する分析を行うことなく、容易に霜降り割合(粗脂肪含量)が推定できることを発表しました。

「飼料用米の繊維質による豚尿中窒素低減効果の有無」では、豚の飼料中に粉碎もみ米を配合することにより、もみ殻に含まれる繊維質が尿中の窒素を低減させる可能性を検討した結果を発表しました。

鶏への飼料用米給与に関する研究成果

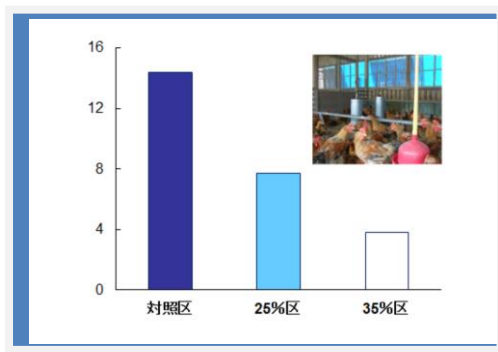
【養豚・養鶏研究部関試験地】

「開放鶏舎における肉用奥美濃古地鶏への粳米給与実証」 (日本家禽学会 2015 年度秋季大会発表)

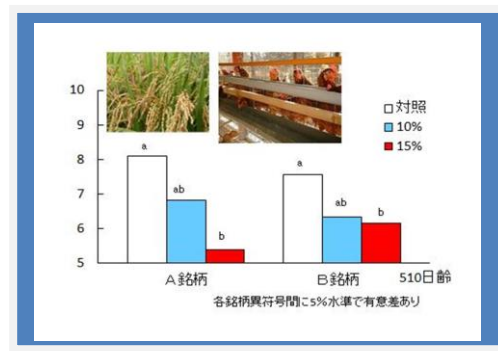
当所の開放鶏舎において雄雌混合飼育で粳米 25%あるいは 35%添加し、対照区と比較しました。発育は粳米給与区が対照区より良い傾向でした。特に雄雌混合飼育のため、対照区では悪癖が多発しましたが、粳米給与区では少なく、育成率も高い傾向でした。肉の脂肪酸組成や呈味成分には大きな差はありませんでした。実用的には35%が粳米給与の最大限と考えられます。

「採卵鶏への粳米給与試験について」(中部日本養鶏研究会交流促進会発表)

市販赤玉鶏2銘柄に中雛から約 500 日齢まで粳米を 10%あるいは 15%、配合飼料に置き換え添加し、産卵性や卵質への影響を調べました。鶏銘柄によって産卵日量、生存率及び筋胃重量に大きな差があり、粳米に対する順応性に差があると考えられました。また、卵黄色への粳米の影響も、明度、赤色度、黄色度でみると、赤色度が大変低くなりました。今後、さらに羽数を増やし確かめていきたいと思ひます。



飼料用米給与鶏の悪癖への死亡率 (%)



飼料用米給与鶏の卵黄色(赤色度)

【おしらせ】

現場後代検定枝肉研究会の開催

【飛騨牛研究部】

- 1 日時 平成28年1月28日(木) 午前9時30分から12時
- 2 場所 飛騨ミート農業協同組合連合会食肉センター
- 3 内容 「白藤85」産子枝肉の展示及び解説

岐阜県畜産研究所

〒506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1 Tel 0577-68-2226 Fax 0577-68-2227

ホームページ <http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>